

An aerial photograph of a coastal town. In the foreground, a white observation tower stands on a green hill. Below it is a parking lot and some buildings. To the left, a marina with several boats is visible. The town extends into the distance, with a river or bay on the left and a body of water on the right. The sky is blue with some clouds.

IV

地域資源・観光資源の整理

IV. 地域資源・観光資源の整理

IV-1. 地域資源の整理

1) 観光資源の整理

本市内の主な観光資源を挙げると次のとおりとなります。

表 IV-1 本市内の観光資源とイベント・行事

分類	地区	観光資源等
歴史文化系	海津	歴史民俗資料館、治水神社、千本松原、木彫観音立像（油島）、本町軸・末広町軸（萱野）、梶屋八幡神社社叢、（仮称）大江緑道
	南濃	さぼう遊学館、臥龍山行基寺、駒野城跡、羽根谷砂防堰堤（第1堰堤）、松山諏訪神社の大クス、津屋川水系清水池ハリヨ生息地、杉生神社のケヤキ
	平田	千代保稲荷神社、秋葉神社 < 今尾左義長 >、早川邸
食・買物系	海津	木曾三川ブルーベリーの里 ^{※2}
	南濃	道の駅 月見の里南濃、鷺野農園のイチゴ狩り ^{※2} 、南濃町観光みかん狩り組合 ^{※2}
	平田	道の駅 クレール平田、千代保稲荷神社の門前町
スポーツ系	海津	国営木曾三川公園・長良川サービスセンター < 木曾三川交流レガッタ、長良川国際トライアスロン大会、長良川ふれあいマラソン大会、海津ミナモマラソン大会、デ・レーク記念交流レガッタ >
癒し系	海津	国営木曾三川公園・アクアワールド水郷パークセンター < 海津アクアマルシェ、堀田 >、国営木曾三川公園・木曾三川公園センター < チューリップ祭、春の花物語・夏の水物語・秋の花物語・冬の光物語 >、海津温泉
	南濃	南濃温泉 水晶の湯、月見の森（日本百名月） < 観月会 >、あじさいの小径（月見の森遊歩道）、羽根谷だんだん公園（巨石堰堤・桜）、津屋川の彼岸花、吉田出来山公園の桜、南濃梅園
	平田	平田公園、平田リバーサイドブラザ、平田靱負ロード・平田靱負桜（大樽川堤）、勝賀の大池

<> 内：イベント・行事

- ※1 国指定文化財…油島千本松締切堤（千本松原）
 国登録文化財…羽根谷砂防堰堤（羽根谷だんだん公園）等
 国指定天然記念物…津屋川水系清水池ハリヨ生息地
 県指定文化財…今尾左義長等
 県指定天然記念物…松山諏訪神社の大クス、杉生神社のケヤキ、梶屋八幡神社社叢
- ※2 市内の味覚狩りができる施設はほかにもあるが、ここでは観光協会会員のみを示した。

2) 主要観光資源の評価

次ページより、観光資源の評価及び位置図を示します。2017(平成29)年に行った本市以外の中部地方・関西地方に在住の600人を対象としたWebアンケートで、「知っているところ、訪れたことがあるところ」、訪れたことがあるところについて「満足度」を尋ねています。

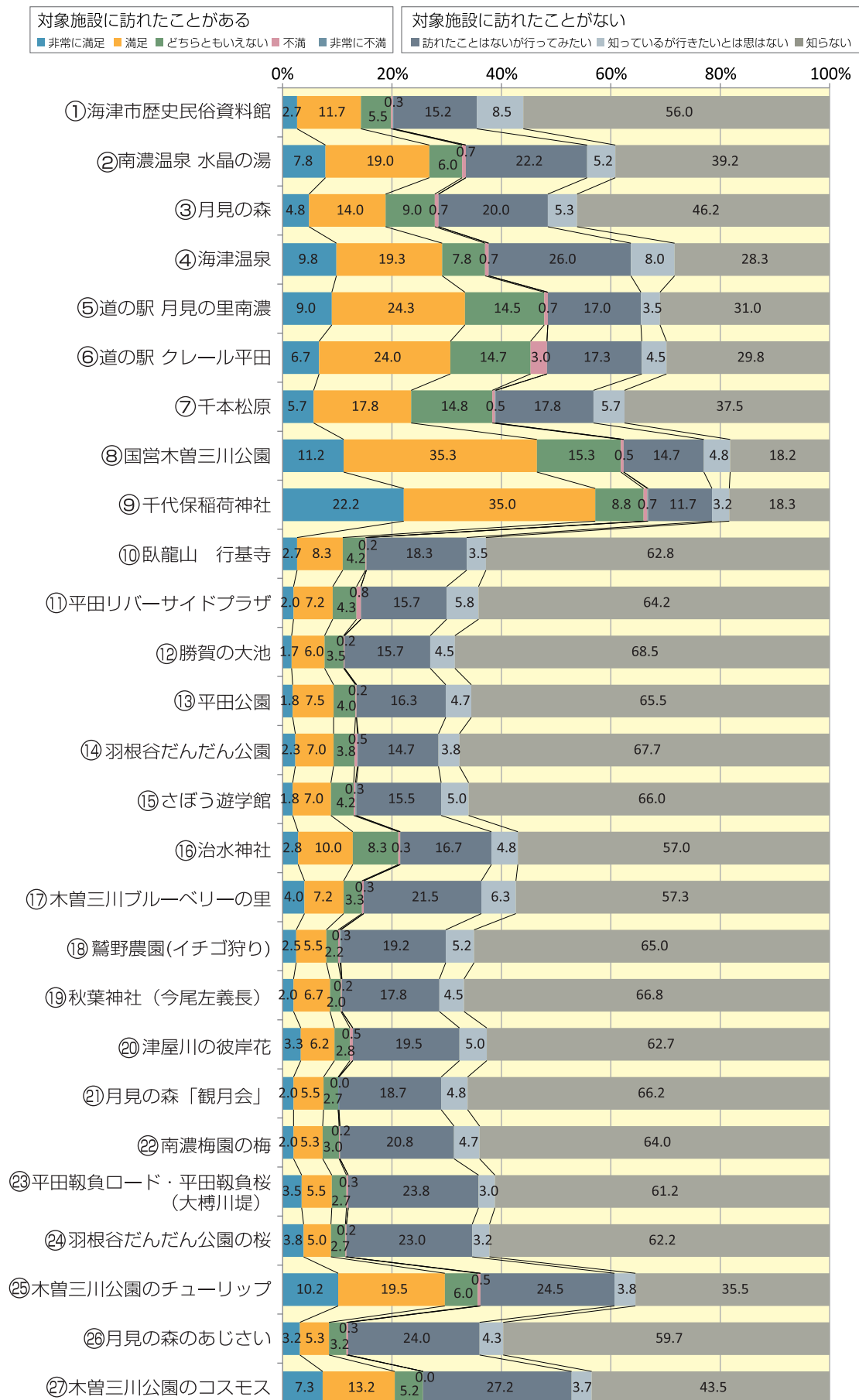
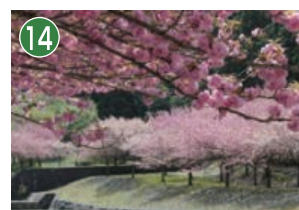
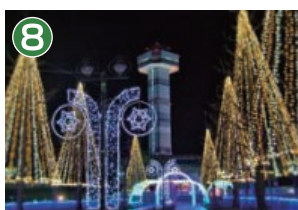
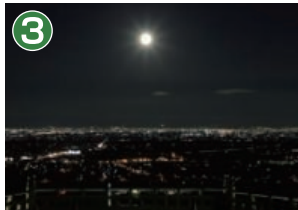


図 IV-1 観光施設の認知度・来訪意欲・満足度
(本市実施による Web アンケート調査結果)

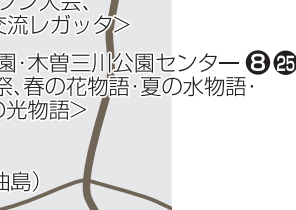
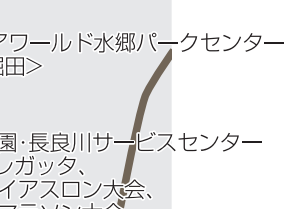
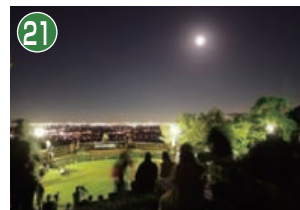
位置図



海津市観光資源

- 歴史文化系
- 食・買物系
- スポーツ系
- 癒し系
- 海津市

<> 内: イベント・行事



3) 海津市の観光資源の客層（ターゲット）

本市の観光資源について、課題や観光資源の魅力向上、マーケットの参考とするために、現在の客層（ターゲット）の整理を試みました。

表 IV-2 観光資源のターゲットとなる客層

地区	観光資源	分類					ターゲット							
		スポーツ	歴史・文化	食・買物	自然・癒し	イベント	団塊の世代・高齢者層	中高年女性・グループ	若年女性	ファミリー子育て世代	学生、若者、カップル	学校行事	会社員	外国人
海津	国営木曾三川公園（アクアワールド水郷パークセンター）				○	○	◎	◎	○	○	●			
	国営木曾三川公園（長良川サービスセンター）	○					●		●	◎	◎	◎		△
	国営木曾三川公園（木曾三川公園センター）					○	○	○	○	○	○	○		○
	歴史民俗資料館		○				○					◎		●
	海津温泉			○	○		◎	◎	○	◎	○		●	△
	治水神社		○									◎		●
	千本松原		○				◎					◎		●
	木曾三川 ブルーベリーの里			○					◎	◎	◎			
	木彫観音立像（油島）		○					○						
	本町軸・末広町軸（萱野）		○				○							
	梶屋八幡神社社叢		○				○	○						
	（仮称）大江緑道		○				○			○				
南濃	道の駅 月見の里南濃			○			◎	◎		○			◎	
	南濃温泉 水晶の湯			○	○		◎		○	◎	○		●	△
	月見の森（日本百名月）				○		◎	◎		◎	○	○		●
	羽根谷だんだん公園		○				○	○		◎		○		●
	さばう遊学館		○									◎		
	臥龍山行基寺		○		○		◎	◎	○		○			△
	鷺野農園（イチゴ狩り）			○					◎	◎	◎			
	南濃町観光みかん狩り組合			○					◎	◎	◎			
	駒野城跡		○				○							●
	南濃梅園				○		○	○						
	杉生神社のケヤキ		○				○	○						
	松山諏訪神社の大クス		○				○	○						
	津屋川水系清水池ハリヨ生息地		○		○		○	○				○		
	吉田出来山公園の桜				○		○	○						
平田	津屋川の彼岸花				○		○	○						
	千代保稲荷神社とその門前町		○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	●
	道の駅 クレール平田			○			◎	◎					◎	
	平田リバーサイドプラザ			○	○		○	○	●	◎	◎			
	平田公園									◎				
	勝賀の大池				○		◎			◎		○		
	平田靱負ロード・平田靱負桜（大樽川堤）				○		○	○						
	秋葉神社（今尾左義長）		○				◎	◎		◎				○

ターゲットの記号の意味：

- ◎：関係が深く、現在の主ターゲットであり、引き続き重点的に呼び込むもの
- ：関係があるが、従ターゲットとして引き続き呼び込むもの
- ：関係が薄い、何らかの施策によって新たなターゲットとなるもの
- △：将来検討が必要なターゲット（なし）：ターゲットとするのが難しいとみられるもの

本市には、団塊の世代・高齢者層や中高年女性・グループが客層となる観光施設が多く、当該客層はリピーターとして本市の中核となるターゲットです。このリピーターを飽きさせない、他地域との競争に負けない新たな魅力を提供する必要があります。

スポーツ系施設については、若い世代への関心の強化（情報提供）を行う必要があります。

また、元気な中高年者は、アクティブな活動を好む傾向にあります。スポーツへの取り組み、舟運観光等の体験型への取り組みを検討する必要があります。



IV-2. 地域資源ワークショップ

本市の観光入込客数は約 460 万人（2016（平成 28）年）ですが、そのうち千代保稲荷神社と千本松原・木曽三川公園の 2 箇所で約 7 割を占めています。

本市が目指す滞在型・周遊型観光を推進するためには、隠れた観光資源を再発見する必要があります。

■ 2017 年度観光資源発掘ワークショップ

家族旅行の行き先を決めるのは女性が主導的と言われています。そこで、女性ならではの感性を活かすため、地域の各分野で活躍する女性を中心に集まっていただき、観光資源の掘り起こしを目的としたワークショップを開催しました（第 1 回：平成 29 年 12 月、第 2 回：平成 30 年 1 月）。ワークショップでは観光資源の掘り起こしと観光周遊ツアーの素案作成を行いました。

女性ならではの視点で、あまり知られていない観光資源や、資源を活用できそうな観光ツアーのルート案、現在の本市の観光における課題等を洗い出しました。

表 IV-3 ワークショップの様子



グループでの意見交換の様子



意見交換の結果発表の様子

表 IV-4 ワークショップの結果

意見分類	Aグループ	Bグループ	Cグループ
おすすめの 観光資源等	・ 国営木曽三川公園 アクアワールド水郷パークセンターは、イベントを開催しており活用すべき ・ 羽根谷だんだん公園の桜 ・ 千代保稲荷神社の食べ歩きも良いが、豪遊し、きらびやかだった時代も良かった ・ 歩くには良いところ	・ 桜。平田靱負ロード、羽根谷だんだん公園、輪中 ・ 津屋川堤防の彼岸花は息を呑むほど美しい ・ みかん狩り、イチゴ狩り	・ 羽根谷だんだん公園をライトアップしてはどうか ・ 桜・八重桜、紅葉 ・ 臥龍山行基寺と歴史民俗資料館の連携（お互いが眺望できる）
おすすめの 食べ物	・ もろこ寿司、竹寒天等復活したい。お土産化しても良い	・ 味感チップ ・ JA にしみの FM 南濃の焼き芋	・ 本市文化協会のお茶会も組み込める ・ 飲食店の創作料理
主な ターゲット	・ 女性 ・ 50 ～ 70 代の夫婦や家族連れ	・ 平日：高齢夫婦。名古屋、滋賀、三重在住 ・ 休日：家族（祖父母も）	・ 祖父母＋小学校低学年の孫 2 人。名古屋方面在住
ルート案	● 舟運 + パークセンター + バス（千代保稲荷神社等） ※嫁入り舟の復活 ● 桜めぐり 千代保稲荷神社 → 平田靱負ロード → 【夕方】羽根谷だんだん公園（ライトアップ）→ 月見の森・南濃温泉 水晶の湯 ※ウォーキング ※その他季節にあわせて、紅葉、イルミネーションなど	● 「こだわりの食」コース 南濃温泉水晶の湯の地産地消メニューを活用する ● 「四季・自然をつなぐ」コース 季節ごとの花＋お弁当「三川弁当」 平田靱負ロードを草もちを食べながら桜等 ● 「歴史」コース 歴史民俗資料館 → 臥龍山行基寺 → 治水神社 ● 「平日・高齢者コース」 ● 「休日・家族コース」	● 名古屋 → 国営木曽三川公園 → 農業 → 海津温泉 ※家族連れをターゲット、どろんこ体験から温泉 ● 羽根谷だんだん公園堰堤にハートの石を設置（SNS） ● 「千の旅コース」：木曽三川公園→パークセンター（拠点）→ 市内各地の“千”にまつわる観光資源（千本桜や千本のひまわり等、季節によって目的地が変動 → 立ち寄り先も変動）
特産品案	・ 小分けにして、小さく売る	・ 米を活用した米麺、米粉パン ・ 奥美濃古地鶏の卵を加工 ・ チューリップアイス ・ 恋する月見三食だんご ※海津産のフルーツ（みかん、メロン、ブルーベリーなど）と組み合わせ	・ ライスバーガー（海津市産のハツシモを使用、中身はしし肉、もろこの甘露煮、ブラックバス等）

IV-3. 公共交通網

本市には、養老鉄道養老線、路線バス（名阪近鉄バス）、海津市コミュニティバス、海津市デマンド交通、タクシーといった公共交通機関があります。これらは、地域住民だけでなく、観光客の移動手段でもあります。

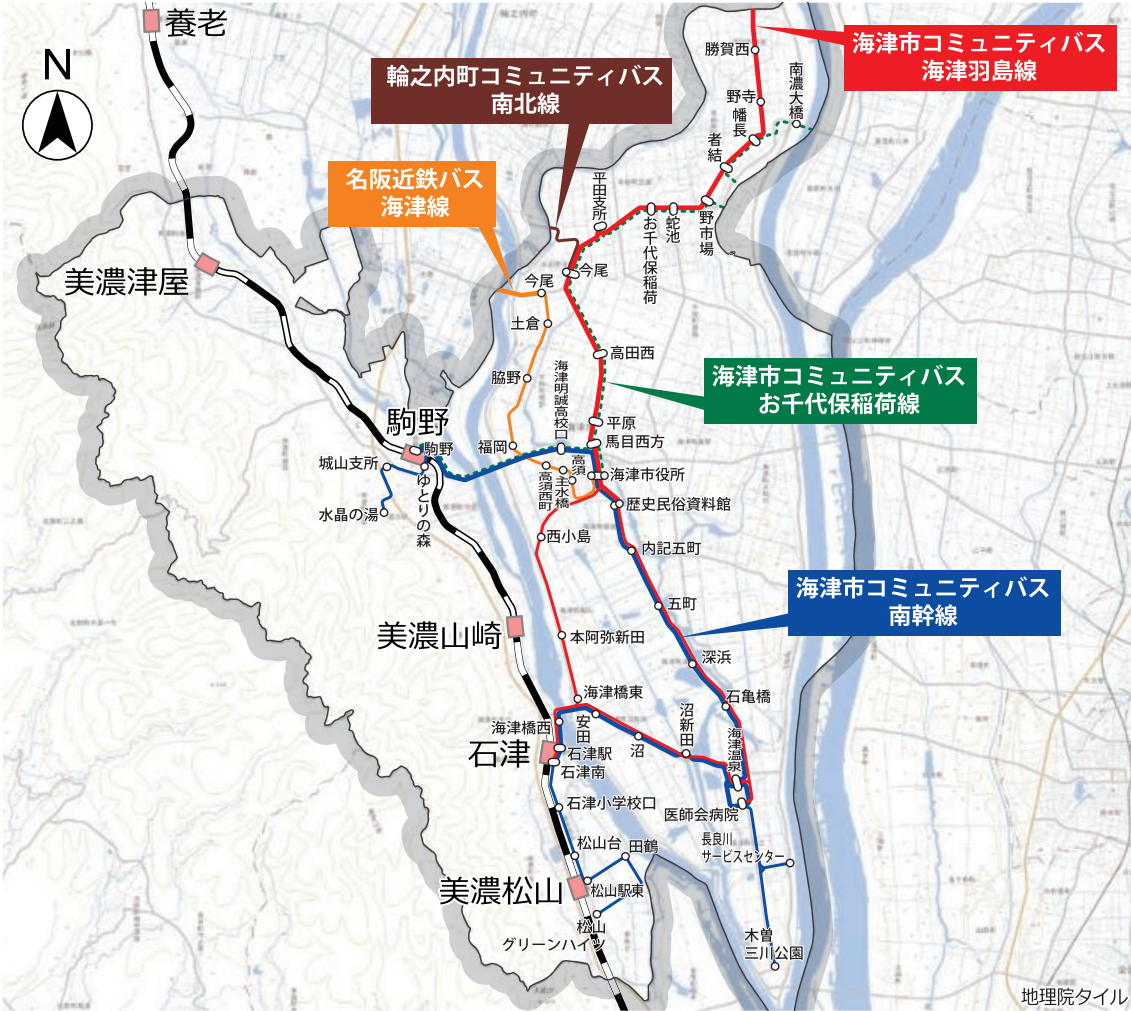


図 IV-2 市内鉄道・コミュニティバス路線図

1) 養老鉄道養老線

本市には、養老鉄道養老線の5つの鉄道駅があります。以下に概要をまとめます。

表 IV-5 市内養老鉄道養老線停車駅概要

駅の名称	所在地	二次交通		乗降者数（人） ⁷	
		コミュニティバス	デマンドバス	平日	休日
美濃津屋駅	南濃町津屋	—	○	293	184
駒野駅	南濃町駒野	○	○	900	449
美濃山崎駅	南濃町山崎	—	○	137	77
石津駅	南濃町太田	○	○	482	250
美濃松山駅	南濃町松山	○	○	733	354

⁷ 平成26年9月「養老鉄道駅別乗降者数・利用者アンケート調査」結果

本市内の鉄道駅からは、大垣方面、桑名方面へ、朝 6 時前後の始発から 23 時台まで運行しています。また、5 駅の両端である美濃津屋駅から美濃松山駅までの所要時間は約 20 分です。

コミュニティバスのバス停は駒野駅、石津駅、美濃松山駅の 3 駅にあり、デマンド交通の停留所は 5 駅全てにあります。

なお、本市の公共交通による広域的な玄関口は岐阜羽島駅となり、コミュニティバス海津羽島線で接続しています。以下に概要をまとめます。

表 IV-6 東海道新幹線 岐阜羽島駅概要

駅の名称	所在地	二次交通		乗者数（人／日） ⁸
		コミュニティバス	デマンドバス	
岐阜羽島駅	岐阜県羽島市福寿町	○	－	2,824

2) 海津市コミュニティバス

海津市コミュニティバスは、「海津羽島線（石津南～岐阜羽島駅）」、「お千代保稲荷線（海津市役所～岐阜羽島駅）（大須～海津市役所）」、「南幹線（松山グリーンハイツ～水晶の湯）」の 3 路線で運行しています。料金の概要は以下のとおりです。

表 IV-7 海津市コミュニティバス料金

対 象		料 金
大人 （高校生以上）	お千代保稲荷線・南幹線	200 円
	海津羽島線（市内区間）	200 円
	海津羽島線（市外区間）／お千代保稲荷線 3 便（市外区間）	300 円
小・中学生		100 円
小学生未満		無料
市内の 65 歳以上の方で、本市発行の高齢者身分証明書を呈示された方		100 円
障がい者の方で、障害者手帳を呈示された方／その介助者 1 名まで		100 円

⁸ 平成 28 年「羽島市データファイル（統計情報）」。乗車のみのデータ

3) 海津市デマンド交通

海津市デマンド交通は、事前予約乗合制で区域を運行しています。運行区域は本市内全域のほか、市外 3 箇所（羽島市大須、西小藪、オークワ養老店）であり、停留所は 300 箇所以上ときめ細やかな運行をしています。また、利用時間は 8 時 30 分から 17 時 00 分であり、平日のみの運行となっています。料金の概要は以下のとおりです。

表 IV-8 海津市デマンド交通料金

対 象	料 金
大人（高校生以上）	300 円
小・中学生	150 円
小学生未満	無料
障がい者の方で、障害者手帳を呈示された方 / その介助者 1 名まで	150 円
運転免許証自主返納者で、運転経歴証明書を呈示された方	150 円

4) 公共交通網の観光への活用

本市には複数の公共交通手段があり、公共交通機関のみの利用でも市内各地への来訪が可能です。しかし、現段階では、日常生活のための交通機関としての利用が多く、観光のための利用は少数となっています。

今後は、公共交通網を活用し、観光利用の促進に向けた情報発信や観光ルートの作成等の施策を実施していく必要があります。

IV-4. 広域観光圏

1) 周辺の主な観光地

本市は、県庁所在地である岐阜市から自動車で約 50 分の距離にあり、また、東海地方の拠点都市である名古屋市からも 50 分程度の位置です。周辺には、水の都、奥の細道むすびの地である大垣市や、年中を通して集客の多いナガシマリゾートのある桑名市等、観光地として魅力ある地域が多くあります。

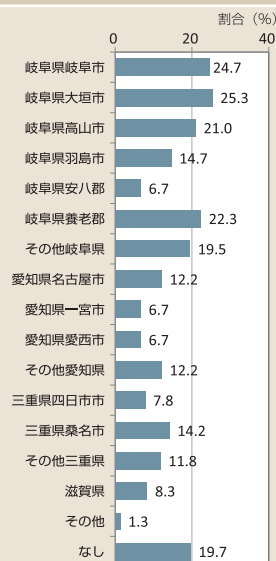


図 IV-3 広域観光圏

Topic!

広域周遊観光の現状

本市に 3 年以内に観光で訪れた方を対象に実施した市外在住者アンケートにおいて、本市に訪れた際、本市以外に立ち寄った市町村を尋ねたところ、大垣市が最も高く 25.3% でした。その他、岐阜市、高山市、養老町で 20% を超えていますが、特に決まった広域的な観光ルートはないと言えます。本市以外に訪れていない人の割合は 19.7% で、5 人に 1 人が周辺への観光を行っていません。



2) 西美濃地域

本市は、岐阜県の西美濃地域に位置しています。西美濃地域には、本市のほかに大垣市、養老町などが含まれています。各市町に観光資源が点在しており、本市を含めた西美濃地域間の連携をとることで観光地域としての強みを伸ばしていく必要があります。こうした背景から2015（平成27）年には、持続可能な地域づくりに寄与することを目的に、西美濃地域3市9町による広域連携組織「西美濃創生広域連携推進協議会」が立ち上げられました。観光事業等地方創生を推進するために必要な事業を企画し、協働して事業を実施することで、西美濃地域全体の活性化を推進しています。



図 IV-4 西美濃観光圏のパンプレットの例



図 IV-5 実施された観光事業のパンプレット